

タイセイヨウ サケ (1)

分類：ニシン目 サケ亜目 サケ科
 学名：*Salmo salar*
 英名：Salmon

北アメリカ東海岸、ソ連、スカンジナビア半島、アイスランド、グリーンランド、スコットランドの各河川に遡上する回遊魚でフランス西部、スペイン北部、イングランドには少い、ブラウントラウト(*S. trutta*)に近縁で相互に交雑しその外観、年令、季節、生息場所により変化するため識別が困難なことが多い。体長1m位のものが多いが、1.5mを超えるものもある。体型はやや細長く、頭部は小さい。体色は背側が灰褐色で、腹側は銀色、各垂直鱗は濃灰色である。雄の婚姻色は背部に黒味を増し体側面と鰓蓋にピンクの斑紋が見られる。腹部は赤味をおびてくる。解氷期になると30~40尾の群をつくり生れ故郷の河川を遡上し10月~2月にかけて砂底又は砂礫底に産卵する。産卵後海に降るが斃死することなく二度産卵のため遡河することもある。ニジマス属に属し「サマン」と呼ばれる事もある。



アイスランド —1959—



フィンランド —1955—



アイスランド —1959—



フランス —1972—



ニューファンドランド —1932—



ニューファンドランド —1937—



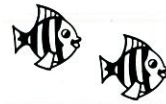
ポーランド —1958—



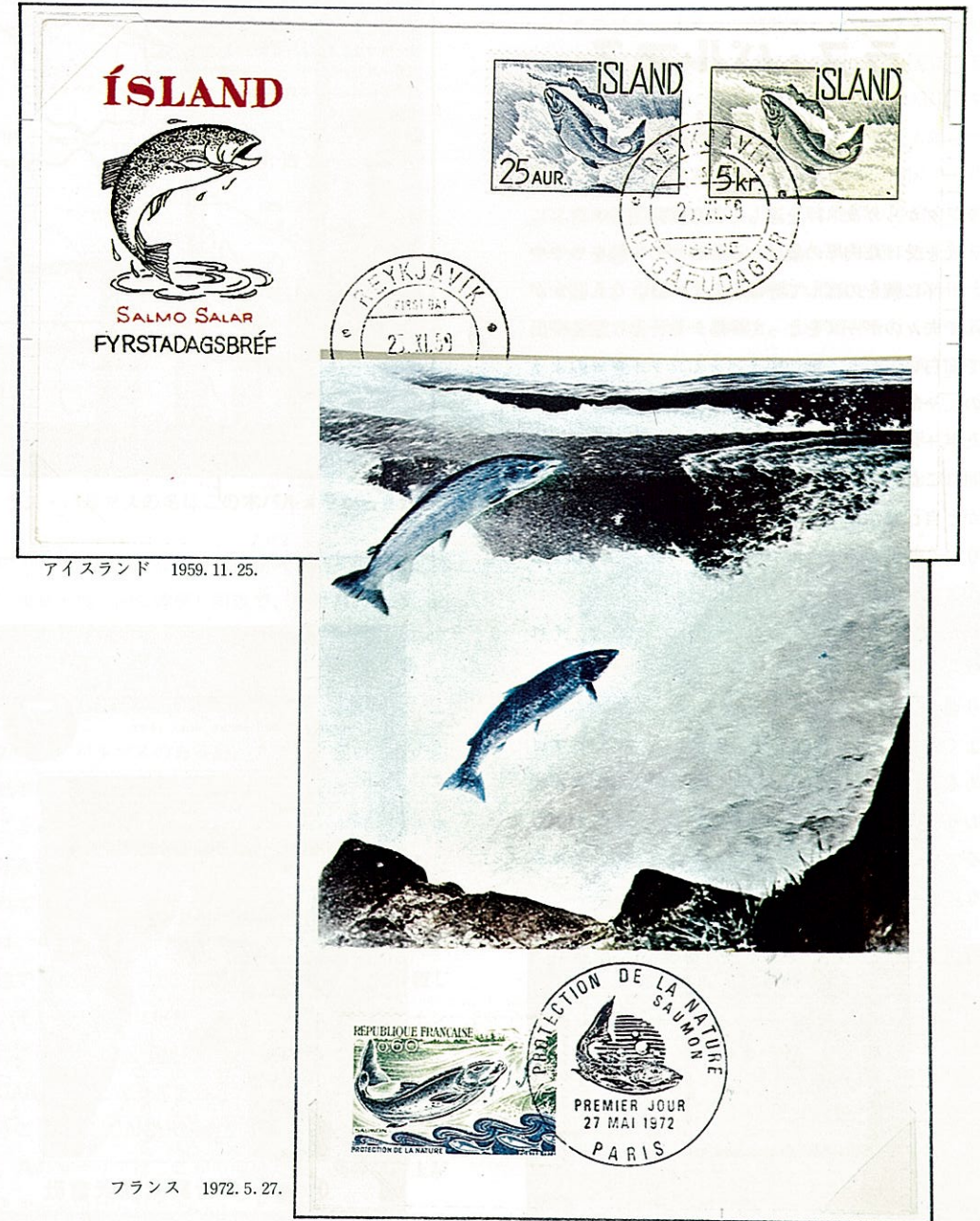
ソ連 —1962—



ポーランド —1947—



タイセイヨウ サケ (2)



アイスランド 1959. 11. 25.

フランス 1972. 5. 27.